

Y12a 美星スペースガードセンターの多量画像データを使った教育活動(III)  
- 小惑星探しの教材化 -

高橋典嗣、浅見敦夫、David Asher、布施哲治、橋本就安、磯部しゅう三、中野主一、西山  
広太、大島良明、寺園淳也、梅原広明、浦田武、吉川真(日本スペースガード協会)

岡山県美星町の美星スペースガードセンター(日本宇宙フォーラム所有)では、宇宙開発事業団からの委託により、日本スペースガード協会が小惑星とスペースデブリの観測を行っている。日本スペースガード協会では、この美星スペースガードセンターで小惑星を観測した画像データを用いて小惑星探を試みてもらおうという教育活動を行ってきた。今回、この活動で用いたデータやソフトウェア等を教材としてまとめたので報告する。

教材化したものは、2000年の初めに日本スペースガード協会が読売新聞社、プリティッシュカウンスルと共同して行った「国際小惑星探査プロジェクト」(2001年の春と秋の年会で報告)に用いた画像データとソフトウェアである。これについて、分かりやすいマニュアルを作成し、データとソフトを整理して2枚のCD-ROMとして添付した。また、日本語版と英語版の両方を作成し、日本国内のみならず海外でも使えるようにした。教材の名称は、「スペースガード探偵団入門」(英語は、Guide to Spaceguard Detective Agency)である。

この「スペースガード探偵団入門」を使ってまずは小惑星探しというものに触れてもらい、小惑星探しの面白さを感じてもらったり、さらには天文学により深い興味を持ってもらいたいと希望している。日本スペースガード協会では、この教材の完成を契機にして、さらに新しい教育プロジェクトの準備も進めている。